

## 第54回外国人による日本語弁論大会 マレーシア、ブラジル、ミャンマー出身者が各賞受賞 大会の様子はNHK Eテレで放映 7月14日(日)16時～

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、2013年6月8日(土)、一般財団法人国際教育振興会、北九州市の共催により、北九州芸術劇場「大ホール」において、「第54回外国人による日本語弁論大会」を開催しました。

11か国12名の方々が本大会に出場し、日本での生活、日本人との交流などを通して考えたこと、感じたことを、ユーモアや感動を交えながら日本語でスピーチし、厳正な審査の結果、以下の3名の方々が各賞を受賞しました。

本大会の様子は、7月14日(日)16時～17時にNHK Eテレで放映される予定です。(※放送日時は変更となる場合があります。)

### 【各賞受賞者】(敬称略)



#### 外務大臣賞・北九州市制50周年記念賞(会場審査員賞)

ワン アハマド ナザルディン ビン ワン アジザン

Mr. Wan Ahmad Nazaruddin Bin Wan Azizan

(マレーシア・鹿児島県日置市役所 国際交流員)

発表テーマ 『気になる「気」』

気になる、気にいる、気をつかう…日本語に多い「気」のつく言い回しをとおして、日本人の人との接し方には、「心」を重んじる特徴があると話しました。5つの評価基準のいずれにおいても高得点を上げ、歌も交えた迫力ある弁論で会場の聴衆も惹きつけました。



#### 文部科学大臣賞

レイラ ミユキ アンラク Ms. Anraku Leila Miyuki

(ブラジル・東京モード学園 専門学校生)

発表テーマ 『ホームレスに学んだ日本人の精神』

「ひとに迷惑をかけない」日本のホームレスの人々の生き方は、日本人特有の精神性と価値観のあらわれであると話しました。確かな日本語運用能力と20歳とは思えない落ち着きで、ホームレスの国際比較というユニークなテーマを充実した弁論にまとめ上げました。



#### 主催団体特別賞

ジン モー ウィ Ms. Zin Moe Wai

(ミャンマー・東日本国際大学<福島県いわき市> 大学生)

発表テーマ 『ルバワトーミンカレー』

自立を求めれば「生意気な女性＝ルバワトーミンカレー」と見なされてしまうというミャンマーの女性が置かれている状況を背景に、日本との比較を軸に女性の生き方について話しました。弁論のメッセージ性、わかりやすさ、日本語運用能力が高く評価されました。

お問い合わせ：日本語教育支援部企画調整チーム 担当：大久保

電話：03-5369-6066

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

www.jpff.go.jp